

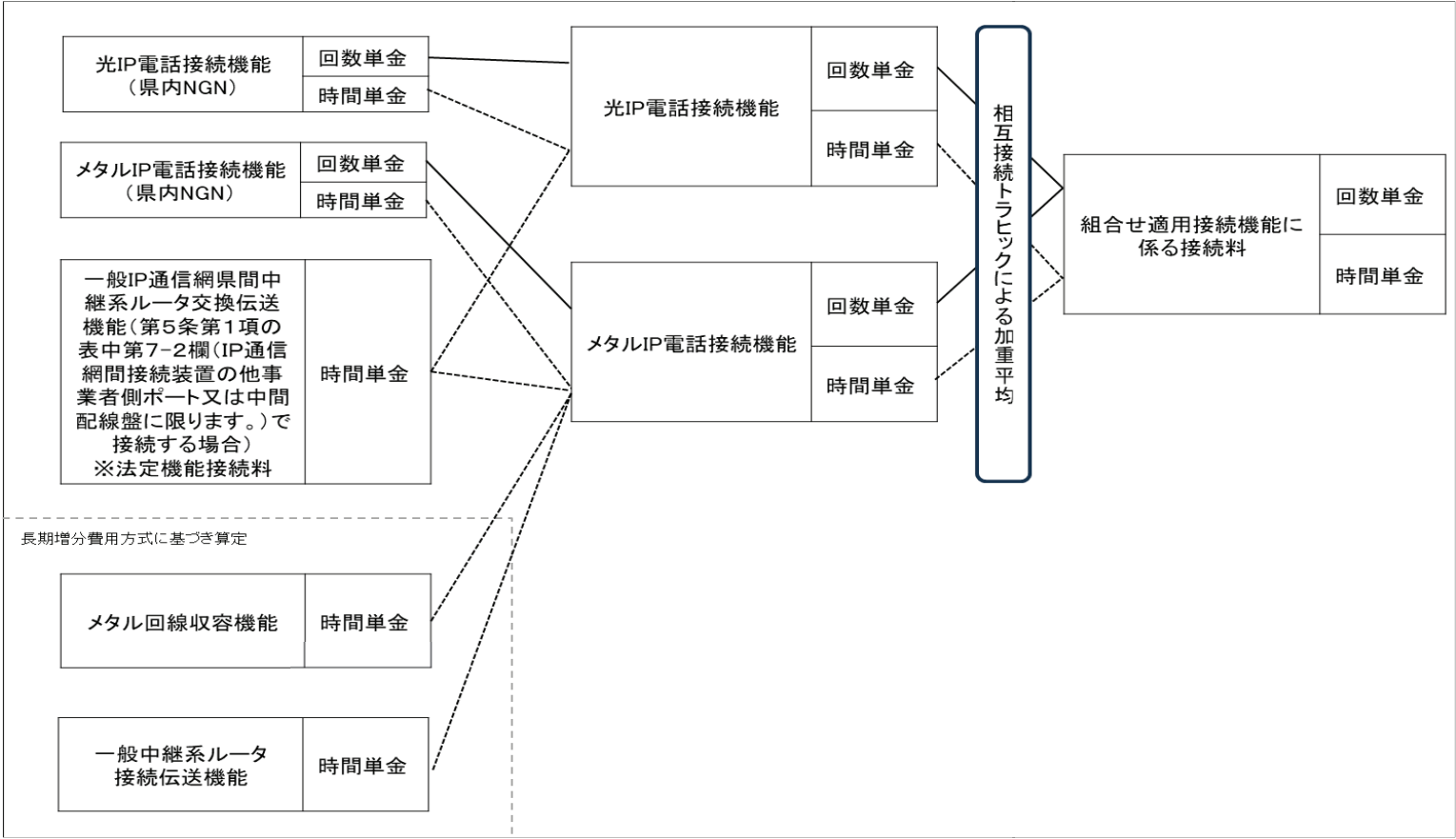
網使用料算定根拠

音声接続に係る組合せ適用接続機能

<西日本>

目 次

I .算定手順	2
II .部分機能の算定	
1. 光IP電話接続機能の算定	3
2. メタルIP電話接続機能の算定	4
III .料金設定に用いた相互接続トラヒック	5
IV .料金の設定	6



Ⅱ.部分機能の算定

1. 光IP電話接続機能の算定

a. 光IP電話接続機能(県内NGN)

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	1.67132	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)のⅡの5-1のcの⑦
②1秒あたり(円/秒)	0.0004767	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)のⅡの5-1のcの⑧

b. 一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能(第5条第1項の表中第7-2欄(IP通信網間接続装置の他事業者側ポート又は中間配線盤に限ります。)で接続する場合)

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	-	
②1秒あたり(円/秒)	0.0000217	2025年度網使用料算定根拠(県間NGN)のⅡの4のCの④

A. 光IP電話接続機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	1.67132	aの①
②1秒あたり(円/秒)	0.0004984	aの②+bの②

Ⅱ.部分機能の算定

2. メタルIP電話に係る接続機能の算定

a. メタルIP電話接続機能(県内NGN)

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	0.44909	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)のⅡの5-1のdの⑦
②1秒あたり(円/秒)	0.0001924	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)のⅡの5-1のdの⑧

b. メタル回線収容機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	-	
②1秒あたり(円/秒)	0.0328553	2026年度網使用料算定根拠(長期増分費用方式)のⅡの1の(2)のBのd

c. 一般中継系ルータ接続伝送機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	-	
②1秒あたり(円/秒)	0.0343089	2026年度網使用料算定根拠(長期増分費用方式)のⅡの2の(2)のd

d. 一般IP通信網県間中継系ルータ交換伝送機能(第5条第1項の表中第7-2欄(IP通信網間接続装置の他事業者側ポート又は中間配線盤)に限ります。)で接続する場合)

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	-	
②1秒あたり(円/秒)	0.0000217	2025年度網使用料算定根拠(県間NGN)のⅡの4のCの④

A. メタルIP電話接続機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	0.44909	aの①
②1秒あたり(円/秒)	0.0673783	aの②+bの②+cの②+dの②

Ⅲ.料金設定に用いた相互接続トラヒック

1. 通信回数

(1)通信量

(単位:千回)

通信先	2024年度第4四半期-2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	備考
①光IP電話	7,972,961	6,146,997	5,952,020	5,751,349	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)の区2の(1)の⑩
②メタルIP電話	2,779,920	2,087,524	1,840,299	1,602,422	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)の区2の(1)の⑪

※2024年度の通信量×1/4＋2025年度の通信量

(2)比率

通信先	2024年度第4四半期-2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	備考
①光IP電話	74.1%	74.6%	76.4%	78.2%	(1)の①÷((1)の①+(1)の②)
②メタルIP電話	25.9%	25.4%	23.6%	21.8%	(1)の②÷((1)の①+(1)の②)

2. 通信時間

(1)通信量

(単位:千時間)

通信先	2024年度第4四半期-2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	備考
①光IP電話	216,646	163,614	155,620	147,702	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)の区2の(2)の⑧
②メタルIP電話	81,396	60,123	52,111	44,602	2025年度網使用料算定根拠(県内NGN)の区2の(2)の⑨

※2024年度の通信量×1/4＋2025年度の通信量

(2)比率

通信先	2024年度第4四半期-2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	備考
①光IP電話	72.7%	73.1%	74.9%	76.8%	(1)の①÷((1)の①+(1)の②)
②メタルIP電話	27.3%	26.9%	25.1%	23.2%	(1)の②÷((1)の①+(1)の②)

Ⅳ料金の設定

1. 組合せ適用接続機能の算定

a. 光IP電話接続機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	1.67132	(Ⅱ-1)光IP電話接続機能のAの①
②1秒あたり(円/秒)	0.0004984	(Ⅱ-1)光IP電話接続機能のAの②

b. メタルIP電話接続機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	0.44909	(Ⅱ-2)メタルIP電話接続機能のAの①
②1秒あたり(円/秒)	0.067378	(Ⅱ-2)メタルIP電話接続機能のAの②

c. 相互接続トラヒック比率

区分	2026年度	備考
①光IP電話(回数比率)	74.6%	(Ⅲ)料金設定に用いた相互接続トラヒックの1の(2)の①
②メタルIP電話(回数比率)	25.4%	(Ⅲ)料金設定に用いた相互接続トラヒックの1の(2)の②
③光IP電話(時間比率)	73.1%	(Ⅲ)料金設定に用いた相互接続トラヒックの2の(2)の①
④メタルIP電話(時間比率)	26.9%	(Ⅲ)料金設定に用いた相互接続トラヒックの2の(2)の②

d. 組合せ適用接続機能

区分	2026年度	備考
①1回あたり(円/回)	1.36147	(aの①×cの①)+(bの①×cの②)
②1秒あたり(円/秒)	0.0184705	(aの②×cの③)+(bの②×cの④)